

中村俊定文庫
文庫 18
595



そらわおやせの標きぐも山里乃
しきねたまておしりまますぐいおやま
乃梅の白んりいおやにえまにし
うししとまきおまてのいささかお
あふの糸如土のむかしの男おまらし山
しぢもはたまてまていんおお(おんお
いつたまてたる友のまておまておまの
もの業くりおまておまておまて



きんぎょのうらなひは
しらぬのうらなひは
春待つに
このうらなひは
あはれに

題 一
うらなひ



うらなひのうらなひ

あはれに

解 二

一
巴

黄橘樓

涼宇



南うゝのさんせや梅乃花
くゝう神を末のくはら枯草が
えぬ 一花のさやまきわの
替はこれくゝ首途や我茶つ
梅のさやまきわはさうさう

萬松樓

笑林
不羨
梅隣
可考
一得



古笑やまゝ付細乃さう
奇捕^{ヤテ}うたるおまをいしう梅乃花
を^サう^キ沖^キふるは梅乃花のさ
う^キい^キに道をいさう初さう
ぬあやうくはるさう梅乃花
さう^キあやうくはるさう梅乃花
ぬあやうくはるさう梅乃花
さう^キあやうくはるさう梅乃花
ぬあやうくはるさう梅乃花
さう^キあやうくはるさう梅乃花
ぬあやうくはるさう梅乃花

似臍
柳府
沖虹
可因
雙宇
涼居
其猶
一壺
五風
夏夕

約々水織ゆけり先、や款フキノシタ鳥花
 眠、目を唄へりてみつ、
 北河やあつて、花、生、ま、り

うぐ、先、舟、乃、鹿、河、ち、よ、り、わ

筆、船、乃、機、り、あ、り、舟、紀、貝

ま、り、
 ま、り、
 ま、り、
 ま、り、

長淵邑
 曝布軒
 可登汀
 刺中鳥

成木邑
 玄鳥亭
 神職
 玉水

東都客
 洞雪軒
 一至

一巴



多、り、位、衆、も、さ、り、
 明、く、
 ま、り、又、二、年、あ、り、
 神、池、
 巫、女、の、ま、れ、

不二坊

千、瀬、
 烟、中、
 東、都、
 雪、飛、
 槎、月、
 河、南、
 屋、布、
 松、蝸、

魚^{ウグヒス} 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 ま^ま 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ

東都
 呼交 呼交 呼交 呼交
 和啓 和啓 和啓 和啓
 之圭 之圭 之圭 之圭
 玉斧 玉斧 玉斧 玉斧
 秋芭 秋芭 秋芭 秋芭
 春魚 春魚 春魚 春魚
 于今 于今 于今 于今
 花笠 花笠 花笠 花笠
 景士 景士 景士 景士
 豐之 豐之 豐之 豐之
 盲人

雪^{ユキ} 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ
 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ 呼^ヒ 交^マ

斐有 斐有 斐有 斐有
 有慶 有慶 有慶 有慶
 巴遊 巴遊 巴遊 巴遊
 如江 如江 如江 如江



倚竹樓

欠字

睡おもやえくいとが 雛はる
 出り那々唄くまはる 縁 月
 おほらねわあはるをえきぬあはる
 音 ⑤ 河らるの 厚のふまが
 窓より花の匂はるのの 時



和田

知新
 笠子
 石牛
 手文
 有里



のげろ程々も伸く切共ヒビカリ子
 甘茶のほろり景はくし 縁 月
 いらくく ぬふく ぬま づる 様 じ
 くま ぬお ぬえ ぬい ぬふ ぬき ぬら ぬ
 磁サカモリり山も 酔くや 山はく
 武義 塾れ 嬉し 下きく 下きく 下きく
 何れ本くふらぬ花や おらる 月
 脱捨く 笠取 下きく 下きく 下きく
 満堂れまぶ目もえぬ 蔭ツボミ 蔭ツボミ

和田邑
 龍吟亭

陽和
 耕斗
 求鳥
 和遊
 猿郎
 東圃
 谷研
 園雪
 麥友
 下村
 畑中



軒とこゑくまきまきり純の形
 一羽ハ鶴も泳ぐり百ふり
 空の中おれりまきりやうまれま
 蒼りふ雛乃海はけり極乃花
 梅もや五ハゆもまきりきー

雲松齋

神職 貞宇
 花岑 宇鳥
 慶宇 真砂

けきまきりれきんぐ角士のま指
 在手ののクモリもうれりきり初
 川齋スツりモけりハきり木匠のむ
 踏ちりりまきりおたりハたぬう那
 風りりまきりおたりハたぬう那
 除りハ吹次まの風



蘆汀 旭蝶 春士 兔道 朝鳥 宗洞

けり 通れ 風より 立ち 立 椀 梅 柳 丸
 舟 葺 柳 や 空へ 吹 送 れ 風 を 吹
 我 舟 舟 吹 送 れ 風 を 吹 送 れ 風

柴月斧

宜水 花雲 如斗 月枝 好水 無笛 梅宇 快眉 蘆跡

沢井 秋

けり 通れ 風より 立ち 立 椀 梅 柳 丸
 舟 葺 柳 や 空へ 吹 送 れ 風 を 吹
 我 舟 舟 吹 送 れ 風 を 吹 送 れ 風

乙宇 蝶宇 青林



鶴の羽の音もききしり ぎん 娘

少年

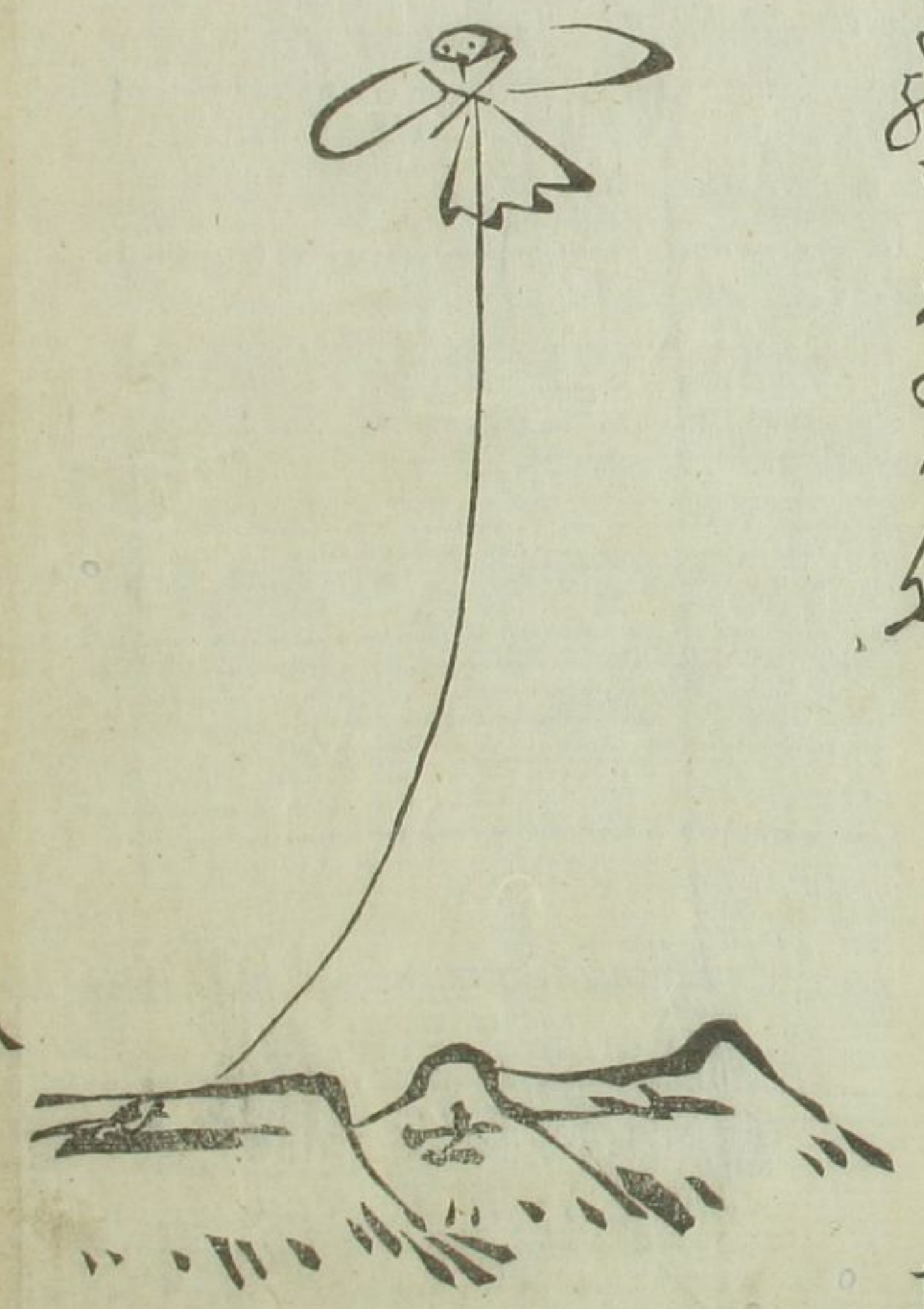
梅甲 可立

柿も山と雪色もさしきりし
 ついで草の中より袴衣はきし
 さかす花もあつてもささきりし
 りん所乃もまき城跡もあまう
 聖なる色の面よりさるれ新葉が
 ちりばみおのおもさるれ新葉が
 まる煙もさるれ春も雪
 下流のさるれ附いそ廣がさるれ
 山道よりさるれさるれ
 さるれさるれさるれさるれ

可笑 梅乙 涼波 鶯者 笑花 里仁 一兔 可丁 春車 柳阿

子よは花のいろはし神楽草
 さるれも人のまき衣初き丸
 さるれも人のまき衣初き丸
 さるれも人のまき衣初き丸

九女童 七女童
 乙人 杜永 涼哉 其舟



月より又花の風もあつらふ紙書
 杉風も涼かもしやう持れぬ
 苗代や氷の堰もうれて
 雪より雪の河にうらみか
 えりやうのふ移りて
 よせもあつらふ涼もあつらふ
 よし桂うらみのぬきさう
 えりやうのふ移りて
 うくはこれ初まや管の音と
 破砕あまじい自れぬ花乃よ

女、綾、東、梅、霜、紅、春、紅、子、琴、和、和、紅、子、霜、梅、枝、雨、李、衣



谷桂邑 麥花亭

山さす竹あつらふもやうの花の本
 吹くすの風も涼かもしやう持れぬ
 苗代や氷の堰もうれて
 雪より雪の河にうらみか
 えりやうのふ移りて
 よせもあつらふ涼もあつらふ
 よし桂うらみのぬきさう
 えりやうのふ移りて
 うくはこれ初まや管の音と
 破砕あまじい自れぬ花乃よ

由、祇、風、山、里、昔、由、祇、風、也、山、曉、里、昔

遠くすげ〜きよも 沖中 留れ 雁

谷 楚

由 夢



今寺邑

艸月菴

懐へ 器〜さや 中 款 みる花

まの雪つりさよも 扇〜が ねもすげ

栴のふれ 葉や いろ〜れ 葉もきり

き〜し〜の 叶 へ 葉 中 田〜 ちり

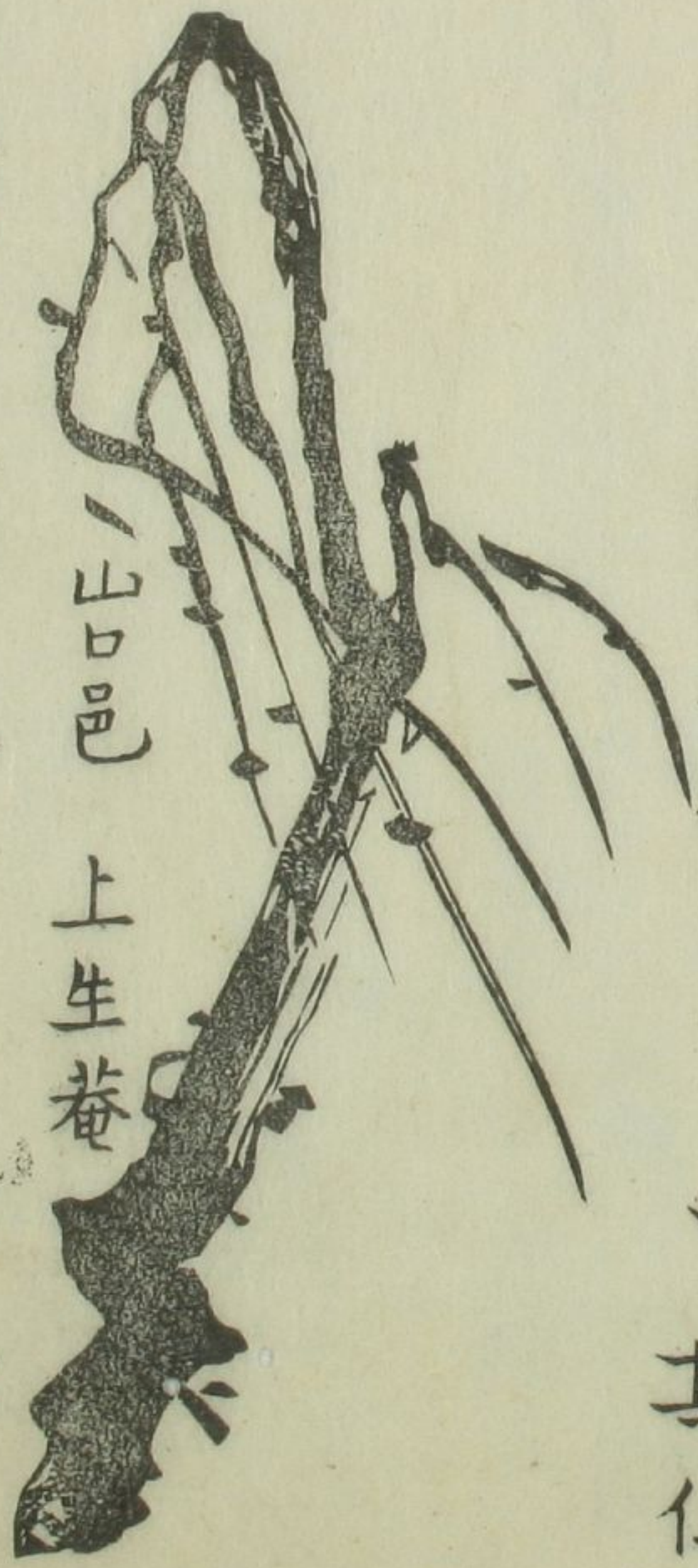
楚上、塩舟、谷楚 萩

似 十 嘯 端
水 雨 谷 水

まのり 根 河 洗〜さ〜さ 山 薑 汁

艸花

其 住



山口邑

上生菴

侍 候 旅 の 風 け ぬ け 柳 ぐれ

ふれ びし〜り 葉 あもま どり 柳 汁

〜る 人 の ま げ の びしと 柳 汁

ま〜り 根 河 洗 け や 葉 の ぬ

萩

漱石

一鳥

鬼箭

柳水

三の舞もすえ無 舞言り
 山もまきく日ど姿乃海子うれ

日南和田邑

談松室

歌匪石

十

功姿やうく成ふあもけり
 体裁乃々可くまはれ雪るる那

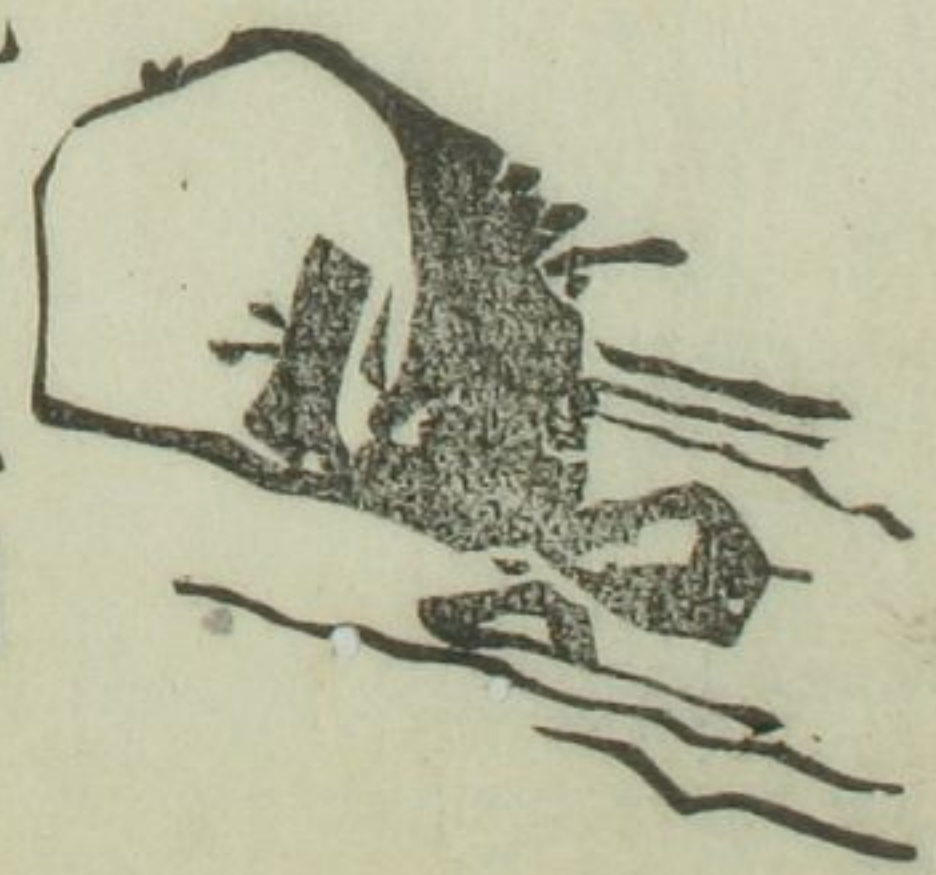
伊奈邑

早涼閣

神職

羽橋

歸丁



引盡のそハ緒うりくもれうり
 持くもく極くまや 舞うき
 着ぬのぬも白くやうめのみ
 昔舞布 管より 舞に 舞うけり
 くるおくや 花の 舞 目もまひり
 ちきりや やもまけり 舞の 舞
 るはのまき山の姿や 初の子ふ

五日市 女 平次

如林 榮子 二蝶 文里 柳絲 不里 不ト



武山大宮 青岳菴

未了



下総八日市場

斗光

一馬

たふさ女も 梅のねん言ー柴の雪
梅のねん言ー柴の雪
功成る米のつるーか ぬこも

東都 笠雨菴

牛後

梅嶺

桂露

綾女

狄二

金童

松月

松山

松山

たふさ乃一日海老
梅のねん言ー柴の雪
功成る米のつるーか ぬこも



枝ぬき成風のなほし柳の都
 春風より高き上ふ柳のうさ
 春風よりぬけ成柳のまじり

しののねわつりてはるるを
 中ねりもあきとわ初るる

東都 有隣亭



文林
 花柳
 柳榮

呂十
 文支

舟れ航り火傳や現り
 何れもなれ灘のまわりのま
 庭ぬきの又ゆきおとねり

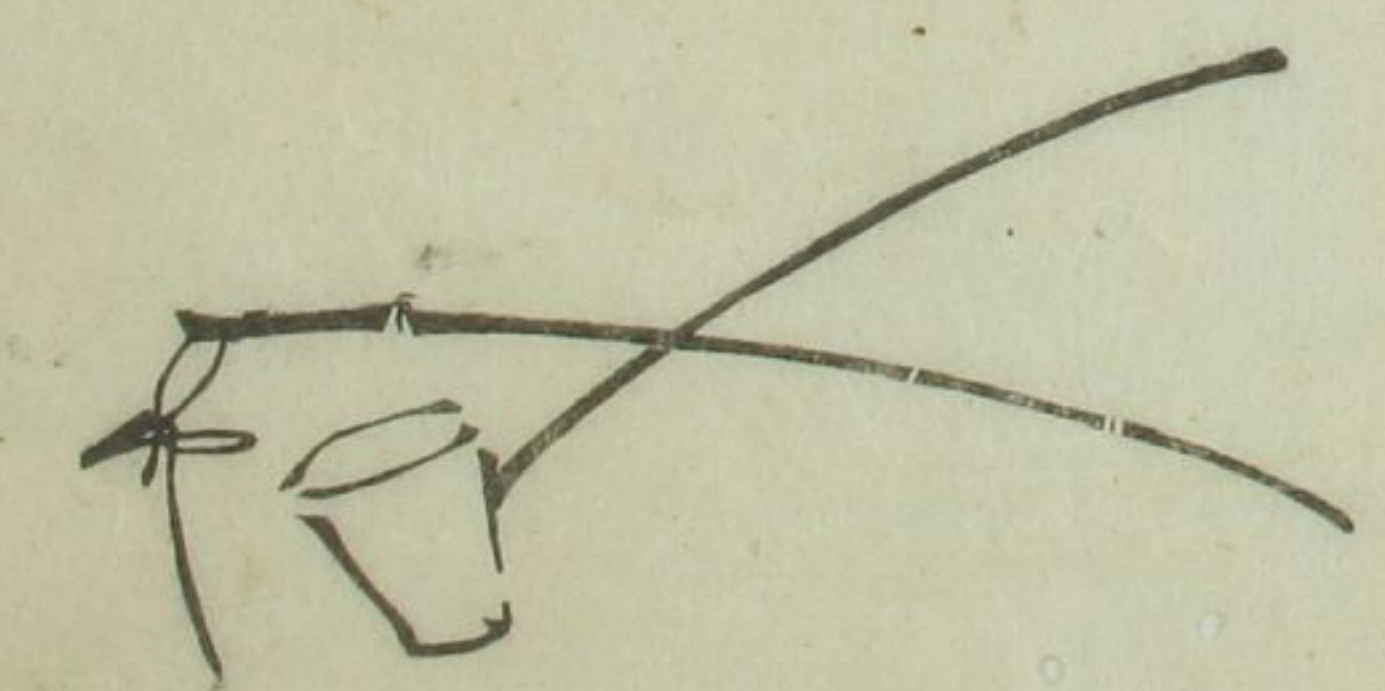
無心坊

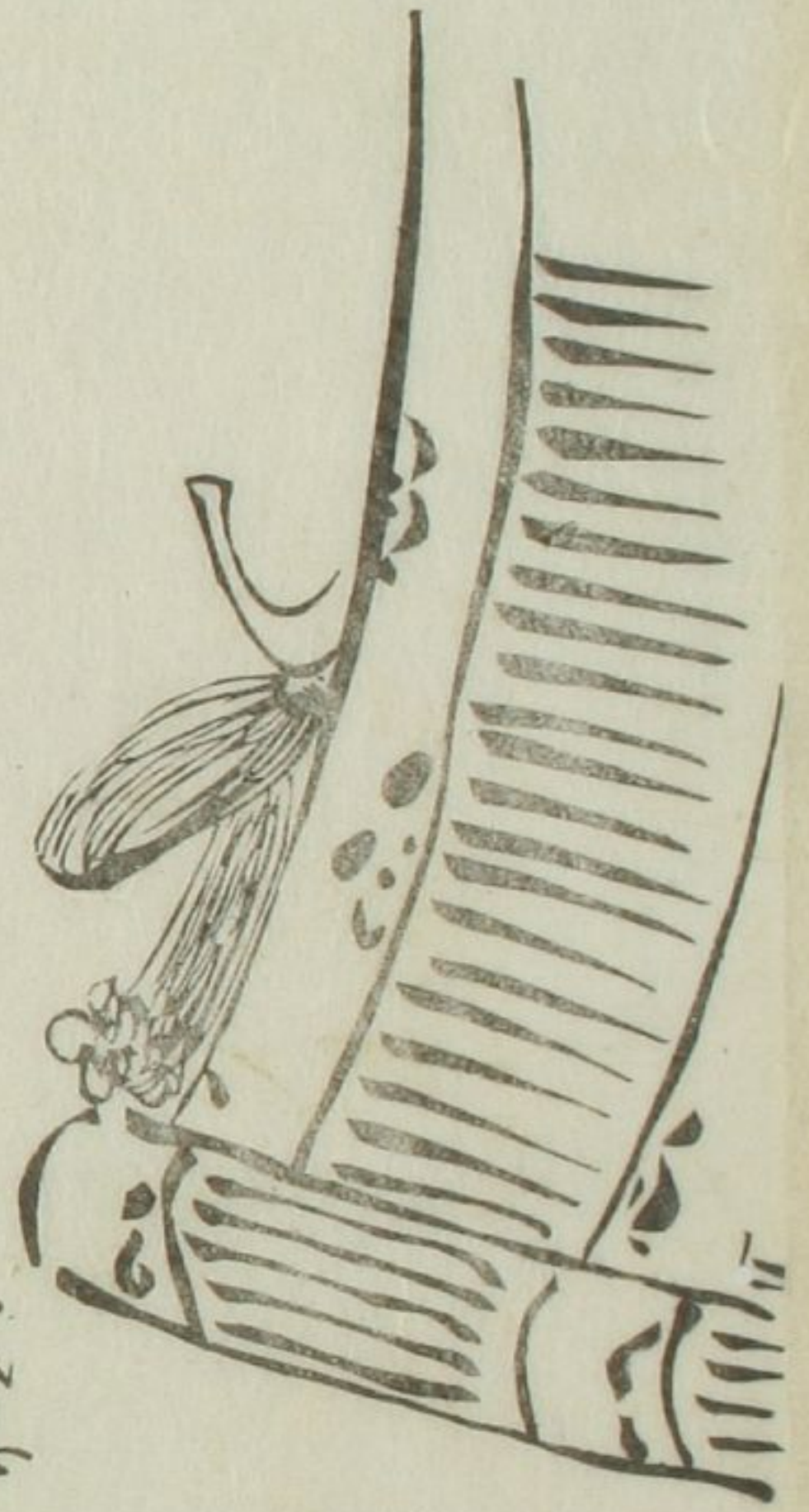
涼波
 雲子
 鯉鱗

東都 盃簀亭

春風やまふも
 金山の伊豆より
 系りわね
 春風やまふも
 新草れりや道と

柳市
 文朝
 葩紅
 鳥扇
 文湖





武忍

綿蠻亭

止丘

新松やうゝの松庭よりおきよる

東都

月江舎

校門より春の好

梅

絨^{ウギ}の柳

兔船

霖溪舎

吹止ぬがみ眠りしる松

吳鳥

東都 有巢亭

らんまの梅がまき

海屋の風

里鶴

包井や油紙

ねぐさの雲

春里

花のまき

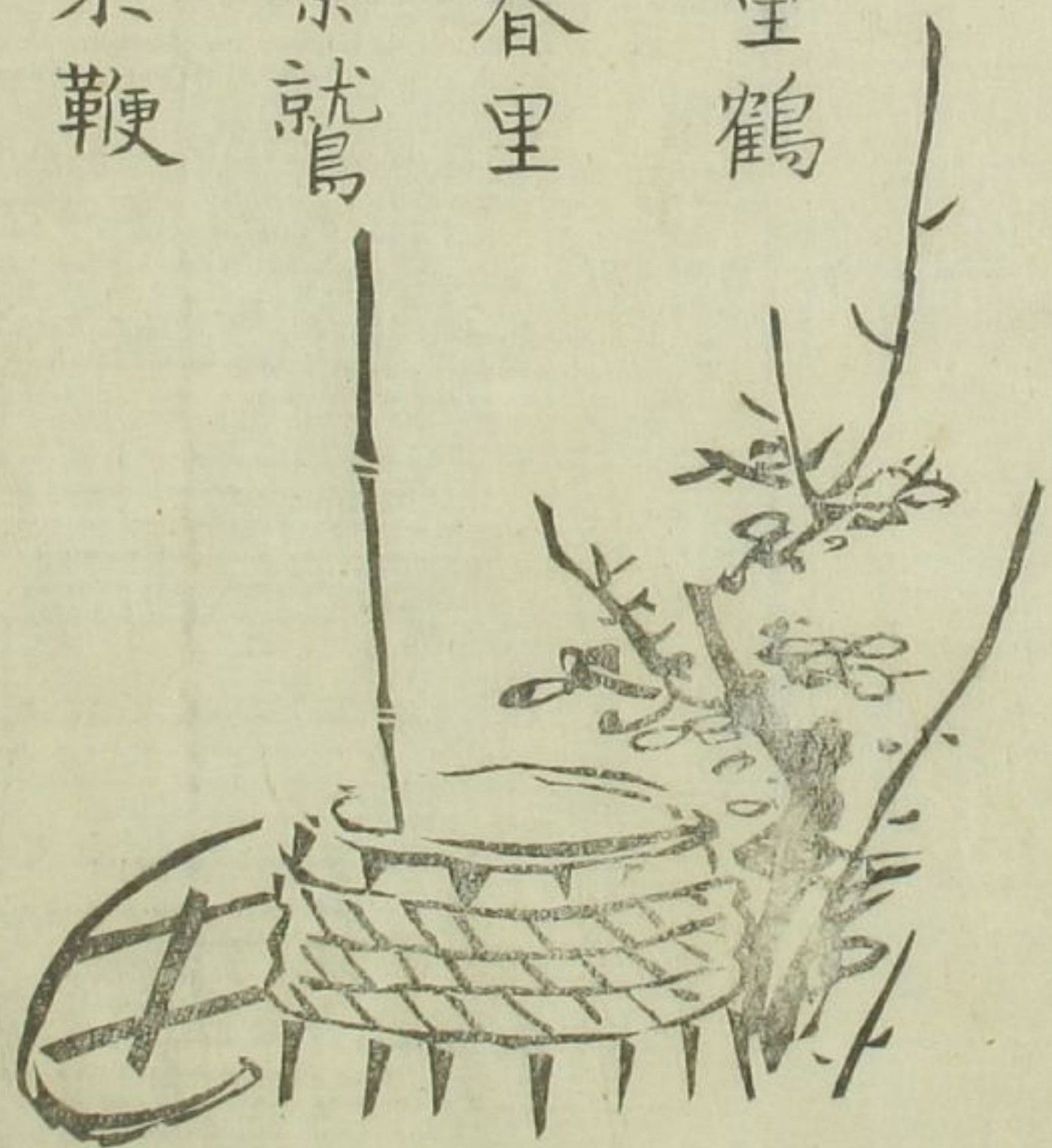
よれはつちも松ん

柴就鳥

くまき又紅まき

摘お茶

不鞭



下ヶ^カ籃やつこむくよれ藁^カ賣

聖の山とてしるまきよる音消えれ

静初也弱もまきよる四方れまき

言調

其川

蘆舟

自出心裁をききてさす書きし
遠山に帯すれくし初より
ま風を解きおし初より
ま唐書初より一冊く初より



これとては信や終り



勢列山田

神職

菊人

萬鳥
和泉
林車
酒好

きぬしりり かぬ猫のまきやま
手あ〜一枚紙よ祈これ
乙子も礎り躍れ柳これ
風を踏む細なるつやふ
中子神く乳母も碎や和歌
まらまら笈のあれまをま



松坂

皇都

相列當摩

徐纜
井夫
井蛙
雨篁
涼瓜
至惠

泉

泉

雪之先

泉

泉

馬

豆

豆列熊坂

熊子

熱海

青我

古聲

櫻居

甲列

七覺山

軟 瑚璉

東都女

添女

新草... 書

梅... 十日... 雨... 晴...



雪の山に水無^{サキ}いごころ
 蜘蛛の巣の如く糸をたれ
 一 陽を室に照らし梅
 おもむくまの煙打小春
 いみじくも神楽の
 笛吹やまはぬあはれ
 茶の湯や煙の流るる
 折世や流るる風は
 炭火や煙のまき
 きよなる神のまはれ

笑林
 不長
 梅瑞
 の春
 一 日
 似指
 欠片
 空あり
 柳あり

おのゝこゝろあふ人よこまび年乃ね
み柳乃同^{ツタ}りつまこか 鶯 鶯
人里のええこもちもたれ枯壁に
辛^ツ詩もえん^ツ雪もたれささだ
さ^ツる^ツや^ツ知^ツり^ツ解^ツあ^ツち^ツ海^ツく^ツま
遠^ツい^ツこ^ツま^ツ途^ツる^ツり^ツさ^ツが^ツ川^ツの^ツ菊
ま^ツみ^ツ糸^ツ糸^ツ梅^ツの^ツ行^ツ幸^ツも^ツる^ツま^ツり^ツ
ま^ツれ^ツ花^ツも^ツあ^ツが^ツ切^ツし^ツ笑^ツま^ツり^ツあ
ア^ツと^ツま^ツり^ツあ^ツや^ツ言^ツれ^ツ行^ツ折^ツ戸
月^ツ氣^ツの^ツま^ツり^ツ降^ツる^ツ花^ツ実^ツあ^ツけ

、 、 、 釈
柳 河 梅 五 一 涼 雙 可 沖
帽 菊 自 風 壺 瓶 因 虹

海^ツつ^ツ代^ツ炭^ツ乃^ツ流^ツき^ツい^ツさ^ツく^ツ壽
羅^ツや^ツ梅^ツと^ツる^ツ魚^ツ乃^ツ氣
み^ツお^ツ丹^ツあ^ツや^ツ小^ツま^ツも^ツる^ツあ^ツい
藤^ツ菊^ツの^ツい^ツぬ^ツす^ツ壁^ツや^ツ阿^ツ羅^ツ糸
柳^ツ菊^ツの^ツ早^ツも^ツ解^ツる^ツあ^ツけ^ツ月
片^ツ袖^ツの^ツ時^ツま^ツり^ツの^ツ大^ツ江^ツ中^ツの^ツれ
す^ツた^ツし^ツ者^ツ詩^ツ度^ツ糸^ツ痛^ツ阿^ツ比^ツ神^ツま^ツり^ツ
柳^ツ柱^ツの^ツ梅^ツり^ツき^ツは^ツる^ツあ^ツま^ツり^ツ
さ^ツる^ツや^ツ言^ツえ^ツく^ツ度^ツ糸^ツ海^ツの^ツ月
糸^ツあ^ツり^ツ動^ツめ^ツあ^ツや^ツさ^ツも^ツつ^ツに

味 和 玉 片 如 ち 石 笠 手
夏 原 寄 ね 江 打 牛 子 又

寂り抄を巻くは汝 ぬく免を
 水川のさきききくぬ ぬきき
 掉りき此凍安じゆ 妙が
 肩へおれ舟のまきき抄
 抄をまきまき抄のまき
 抄をまきまき抄のまき
 細道乃り思見きかき
 ぬくまきまき抄のまき
 梢松乃火中子紙
 鏡写如きまき抄のまき

〃 歎
 花雲 由 神 浦 坊 形 耕 功 巴 子
 雲 一 交 出 六 斗 和 拖 雲

寂り抄を巻くは ぬく免を
 水川のさきききくぬ ぬきき
 掉りき此凍安じゆ 妙が
 肩へおれ舟のまきき抄
 抄をまきまき抄のまき
 抄をまきまき抄のまき
 細道乃り思見きかき
 ぬくまきまき抄のまき
 梢松乃火中子紙
 鏡写如きまき抄のまき

如斗 了枝 了寫 世岩 夢了 旭蝶 其士 其砂 藍灯 急道

雪ふくまをゆくや 鯉のいろ
まじしと 社も息えそく みる未立
神垣へ 喜まはれや 一はる
雪の巻也 幽々の園を ねむり
字結も 風きく さいに 夢醒し
いねが けき ちや けり 手乃 乃
手乃 乃 一 双を ねん さい 乃
ちの 雪の 一花 ぎらや 一はる
庭より 又 はりの 一はる や 一はる

女
糸子 宗細 煉苞 喜魚 藤志 志孝 藤百 藤枝 宗嫁 狂子

雪ふくまをゆくや 鯉のいろ
まじしと 社も息えそく みる未立
神垣へ 喜まはれや 一はる
雪の巻也 幽々の園を ねむり
字結も 風きく さいに 夢醒し
いねが けき ちや けり 手乃 乃
手乃 乃 一 双を ねん さい 乃
ちの 雪の 一花 ぎらや 一はる
庭より 又 はりの 一はる や 一はる

孝
和沖 和吾 燕子 喜子 里仁 一はる 笑花 孝孝 浄波 梅乙

降いぬし 降きし 上書かぬの雲
 まるくや 葉乃木 陰も晴るより
 空周を おおき 晴るり 雲の樹



うま
 うま
 毒甲

雪の鳥

雪の鳥

雪の鳥

源

天のつひの

三十一

秋芭

